

叙任辭令

四月分續

○四月三十日

地方技師 西 義一

五級俸下賜(四月内務省)

五月分續

○五月十五日

正六位勳五等 正木 虎藏

叙從五位

中村嘉米三

敘正八位(以上五月内閣)

○五月十七日

道路技師 石田 昌平

八級俸下賜(五月三重縣)

六月分

○六月一日

正六位勳六等 上野 節夫

敘從五位(六月内閣)

地方技師 木村憲七郎

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ  
休職ヲ命ス(六月内務省)

編輯室の内外

□ 毎號本誌通信欄で、侃諤の論を吐いた田中生「東京だより」の筆を捨て、本月號から其の姿を見せぬことは讀者に寂寥を感じさせることが尠くないと思ふ。筆者に其の理由を質せば黙して語らず、マサカ其の政治論が祟つて、以來執筆相成間敷事とお達しがあつたわけでもあるまいし、思ふこと言はざれば腹ふくぬのたえ、筆者と暑さとお歳の加減で執筆せられぬものと夢更思えぬ、が正直者の考え通りには參らぬ當世のこと何處に何があつてのことか一切相わかり申さぬ。

□ 八月十日から同二十日まで十一日間第三回道路職員講習會を開催することは本號命告の通り。第一回第二回共、豫期以上の好成绩を挙げたが、此度のもは、更に百尺竿頭數歩を進めて内容の充實して居るとは小僧の空威張りではない、前回の講習會の結果を御存じの讀者には充分首肯出来るであらう、三伏の候、講師と講習員との渾然一致した斯道への精進に對して、國民一同深甚の敬意を表すべきであらう。

尙お節介ながら限りある講習員募集の事であるから、申込は出来るだけ早くして頂きたいと思ふ會の係りの人の手許で、早ければ早い程手願がうまく行くと言ふもの。

□ 鬱陶しい梅雨が霽れ上つたらメツキト暑くなつた、毎年定つたことながら街頭の交通事故が暑さに正比例して多くなつた、其の筋の人達の御厄介が多くなる、狭い町並で、暑さに蒸れてボンヤリした所で出合頭にビシヤンとやるのが最も多い、氣候のせゐで、頭のボンヤリするのはお天道様のなさることだが、狭い町並を廣くしないのはお天道様のせゐぢやない、お互の手で廣くしたり、良くしなければならぬ、トマン屋根の暑苦しいバラツクの編輯室で、それを一日も早く良くしようとお切れさうな努力を續けてゐられる同人各位の熱誠に動かされて私も睡魔の撃退にハチ切れさうな努力を續けて居る(編輯十八公)

本號定價 五拾錢  
一ケ年分 金六圓

發行所 東京市麴町區大手町一丁目  
社団法人 道路改良會

發行所 東京市本郷區駒込曙町拾番地

編輯者 上山 陸 造

發行所 東京市小石川區諏訪町五十六

印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江 關 武